

学校の様子(2/4～2/9)

2/4(月)朝会

今朝ははじめに表彰伝達を行ってから、立春や節分など季節のお話をしました。

今日2月4日は、「立春」です。まだまだ寒い日は続きますが、「春が立つ」と書きます。そして、昨日は「節分」でした。節分というのは本来、「季節を分ける」つまり季節が移り変わる節目の日のことを言います。1年には春夏秋冬の4つの季節がありますので、今日が立春のように、夏は「立夏」、秋は「立秋」、冬は「立冬」の日があり、それぞれの前日が節分でした。だから、1年に4回あったものでした。ところが、日本では「立春」が1年のはじまりとして、とくに大切なものとされたため、次第に節分といえば、春の節分のみを指すようになっていきました。

なので、立春を1年のはじまりである1月1日の新年と考えれば、その前日の節分は、12月31日の大晦日にあたります。この1年の厄や災難を追い出し、よいことを招き入れるような1年にしたい、そんな願いを込めて、「鬼は～そと！福は～うち！」のように、豆をまいて鬼を追い払う行事へと発展し、定着していきました。

節分のお楽しみといえば、豆まきですが、昨日はみなさん豆まきをしましたか？数え年の数(年齢プラス1)食べると体が丈夫になると言われています。先生は10・20・30・40・50？いっぱい食べました。

みなさんの中には、恵方巻きを食べた人もいないのでしょうか？先生も食べました。今年の恵方、すなわち福の恵みを司る神様がいる方向は、東北東とのことで、黙って黙々と食べました。1本まるごと食べたり、黙って食べたりするのは、「神様との縁を切らないように」との思いや、1年間病気をせずに元気に過ごせますようにとの意味があるそうです。知っていましたか？

節分は昨日でしたが、今日は「立春」です。立春の日は、太陽の動きを元に計算して日付を決めていますので、たまに2月3日になったりもします。うるう年があるみたいな感じで、時々ずれてしまうのです。だから、豆まきをする「節分の日」も、2月2日にずれることがあります。立春の日は祝日ではないので、あまり意識しないかもしれませんが、「春」の祝日でお休みになる日と言えば・・・「春分の日」があります。太陽が真東から昇り、真西に沈む日が春分の日です。昼と夜の長さがほぼ等しい日とされています。春分の日と秋分の日は、天文学的な太陽の動きに基づいて決められますので、1日前後することがあります。ちなみに、今年は3月21日ですが、来年は3月20日です。

今年の3月20日と言えば・・・卒業式です。21日の春分の日を挟んで、22日が修了式になります。前回の朝会のときに、1年で最も寒い時期がやってくると「大寒」のお話をしましたが、早いものでもう1月が終わってしまい、今日は2月、立春です。なんだかとっても早く感じませんか？

この時期になると、1月2月3月のことを、こんな言葉で表したりします。「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」という言葉で表すことがあります。この1月～3月は、1年間のまとめの時期と言うことで、月日が足早に過ぎてしまうことを例えた言葉です。

特に6年生のみなさんは、小学校卒業の日が近づいてきました。今しかない小学校生活です。これまでもいっぱい頑張って、いいものをいっぱい作ってきましたが、いよいよ本当に小学校生活最後の時間です。卒業式はもちろんですが、この6年間の集大成としてのみなさんに期待しています。

1年生から5年生のみなさんも、今の学年の今の時間は、今しかありません。時間を大切に、3月までの目標をもって、チャレンジしてください。みなさんのラストチャレンジに期待しています。



2/4(月)6年生:タグラグビーの体育授業

今年度も講師の方を招いてタグラグビーの授業を行っています。1学級あたり4年生が3時間、5年生が2時間、6年生が1時間実施します。腰につけた「タグ」を取り合ったり、ラグビーボールを持って走って「トライ」したりして、子どもたちは歓声を上げながら運動していました。講師の方の絶妙な話術とユーモアあふれるお話は子どもたちの意欲をかき立てます。ルールを守って全員が楽しく取り組む授業は、私たちにとっても勉強になります。2019年はラグビーの年でもありますので、みんなで盛り上げていきたいです。1月は4年生、2月初めは6年生、2月半ばは5年生がタグラグビーの授業を予定しています。



2/4（月）1年生：糸車体験

1年生は国語の時間に、「たぬきの糸車」のお話を学習しています。今日は講師の方を招き、実際に本物の糸車を見たり話を聞いたりして、お話の場面や登場人物の気持ちを想像する一助となる体験ができました。教科書に出てくる「キーカラカラ キークルクル」のように糸車の音が聞こえたかもしれません。綿やまゆから糸がより合わさって作られていく様子にも、感動を覚えました。



2/5（火）6年生：本の読み聞かせ(2/13)の極意

2月13日の朝に予定している、6年生による本の読み聞かせのために、図書館司書の溝口さんから「読み聞かせの極意」を教わりました。縦書きや横書きの違いによる本の持ち方をはじめ、自分がその本を好きになることや、本を信じて自分の言葉で伝えることの大切さなど、学ぶことの多い時間となりました。本を選び、教わったことを意識しながら、本番に向けて練習が始まりました。今日は3組、6日は1・5組、7日は2・4組を予定しています。



2/6（水）PTA：朝の本の読み聞かせ（1～3年生）

朝読書の時間に、1～3年生の各教室にてPTA読み聞かせボランティアの方に本を読んでもいただきました。昨日6年生が教わった「読み聞かせの極意」そのものです。いつも本当にありがとうございます。



2/6（水）・8（金）4年生：校外学習

4年生が名古屋市科学館へ校外学習に行ってきました。バスと地下鉄に乗って公衆道徳や集団行動の学びも兼ねています。科学館では科学・技術や天文、生命科学について、見たり聞いたり触れたりして、班ごとに課題をもって見学しました。プラネタリウムでは季節の星や天文学についての解説を聞き、最新のデジタル映像による宇宙を体験してきました。



2/7（木）児童集会：フレッシュカップ壮行会

9日（土）に行われるフレッシュカップ（サッカー部・バスケットボール部の大会）の壮行会を児童会の企画で行いました。金管バンドの演奏とともに選手が入場し、児童会長の激励のことば、選手代表へのインタビュー、選手一人一人の意気込み発表があり、フレッシュカップへの思いが伝わる壮行会となりました。最後は校歌をみんなで歌って応援しました。勝負なので勝ち負けはありますが、勝っても負けても、自分たちの本気、全力を出しきってほしいです。



2/7（木）6年生：命の授業

6年生が多目的教室にて、助産師の先生を講師に迎え、養護教諭とともに「命の授業」を実施しました。命の誕生についての神秘や喜びを、映像や実物大の人形を使ってわかりやすくお話いただきました。すごい確率で自分が生まれてきたことや、命を大切にする気持ち、家族や仲間への感謝の気持ちなど、心のどこかで感じてほしいです。



2/8（金）PTA：ハーバリウム講座

PTA研修部主催のハーバリウム講座が、多目的教室で行われました。「新感覚のインテリア」ということで、お花や植物が入ったガラス瓶のインテリアを制作中でした。様子を少しのぞいてみました。



2/7（木）読書感想文の紹介

読書感想文愛知県コンクールで愛知県教育委員会賞を受賞し、朝会で表彰した4年生の樽井陽向さんに、給食の放送で感想文を紹介してもらいました。改めて以下に紹介します。

「あなたのゆめは、何ですか。」

筆者が、まずしさで苦しんでいる世界中の子どもたちに聞いた言葉。ぼくたちだったらスポーツ選手、アナウンサー、研究者などとふつうに答えるだろう。しかし、まずしさで苦しんでいる世界中の子どもたちのゆめは、ぼくたちのゆめとはちがいで、とても悲しい。例えば、大人になるまで生きること、ごはんをおなかいっぱい食べること。ぼくは最初、信じられない気持ちでいっぱいになった。

ぼくは、大人になるまで生きることがふつうで「当たり前」だと思っていたし、ごはんをおなかいっぱい食べることも当然だと思っていた。それが「当たり前でない」世界があること、そこに自分と同じくらいの年の子どもがいると知ったときやっと、ぼくたちは、本当にめぐまれた世界で生きているということを実感した。

「あなたが一番ほしいものは、何ですか。」

筆者が子どもたちにしたもう一つの質問。ぼくならゲームや本だ。けれど世界には、お母さんがほしい、一度でいいからお母さんにだかしてみたいと答える子どもがいるのだ。考えたこともなかった。もしもお母さんがいなかったら。ぼくはきっと泣き続けるだろう。その後は、そうぞうもできない。しかしそれでも、彼らはけん命に生きているのだ。毎日を一生けん命に生きているのだ。

人は、三秒で一人が、一日で四万人が、一か月で千五百万人以上の人たちが亡くなっていると筆者は述べていた。そのことを知り、ぼくは少しでも力になりたいと思った。何ができるだろうか。筆者はこうものべていた。「百円。たった百円が無いために亡くなってしまう命がある。」それならできる。ぼ金活動に参加することがぼくにできることだと思った。

ある日、学校でユニセフぼ金があるということを知り、お母さんにユニセフぼ金に参加していいかたずねてみた。するとお母さんは、「ぼ金はいいことだけれど、まず、これだけめぐまれたかんきょうであなたは一生けん命に生きているのか。」と返ってきた。ぼくはハッとした。そして筆者のある言葉が頭にうかんだ。「最も大切なボランティアは、自分自身が一生けん命に生きること。」

今のぼくにできて最も大切なことは、このめぐまれたかんきょうに感しゃして、一生けん命に生きることだ。両親がいること、お腹いっぱい食べること、病院にも行けて安全な家もあること。これらは決して当たり前ではない。昨日までの自分はそのことに気づきもせず、感しゃなんて考えもしなかった。今のぼくがまずすべきは日常への感しゃだ。そしてこの本で出会った子どもたちから学んだ、けん命に生きること。それが具体的にどういうことなのかをぼくはまだよく分からない。しかしそれでも、ぼくなりにはけん命に生きてみようと思う。世界中の子どもたちに負けにくい、けん命に生きてやるのだ。

2/9（土）長久手市フレッシュカップ

サッカー部はスポーツの杜で行い、北小に0-3、西小に3-0、南小に2-2（PK戦8-7）の結果で第3位となりました。バスケットボール部は市が洞小学校で行い、北小に2-45、東小に15-18の結果で予選ブロック惜敗でした。1回戦であたった北小がともに優勝しました。今後の目標チームです。どの試合も接戦の試合は特に、応援に力が入る大熱戦の展開でした。今回の大会で得た思いや課題を、今後の練習につなげていってほしいです。今日は大変寒い中、多くの方に応援に駆けつけていただきました。ありがとうございました。



